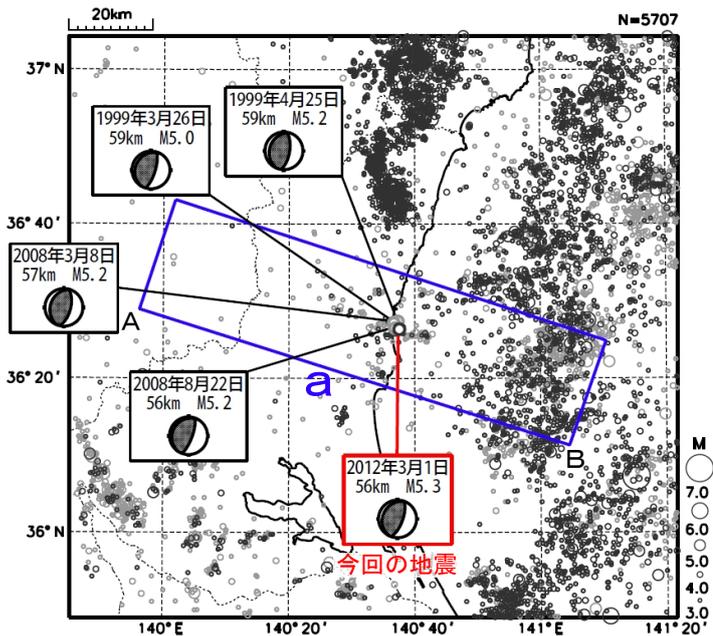


3月1日 茨城県沖の地震

震央分布図*

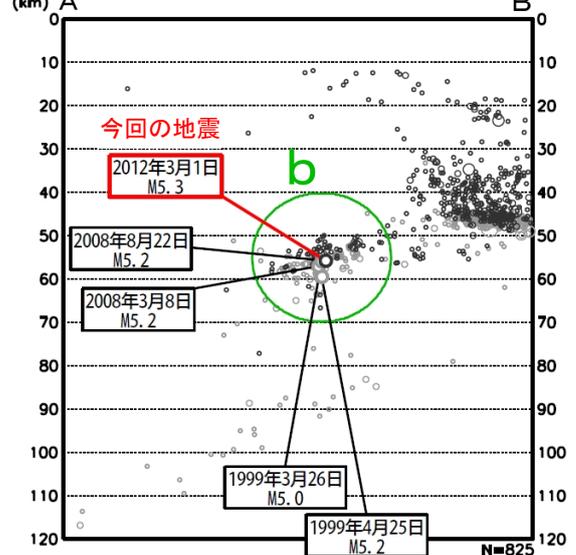
(1997年10月1日～2012年3月31日、深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
 東北地方太平洋沖地震以降を濃く表示



2012年3月1日07時32分に茨城県沖の深さ56kmでM5.3の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

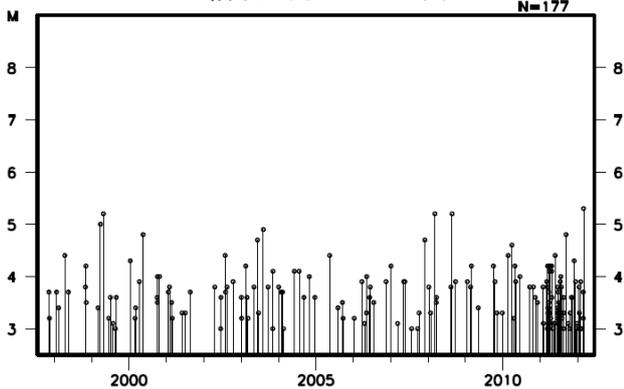
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0を超える地震が時々発生している。

領域a内の断面図*(A-B投影)



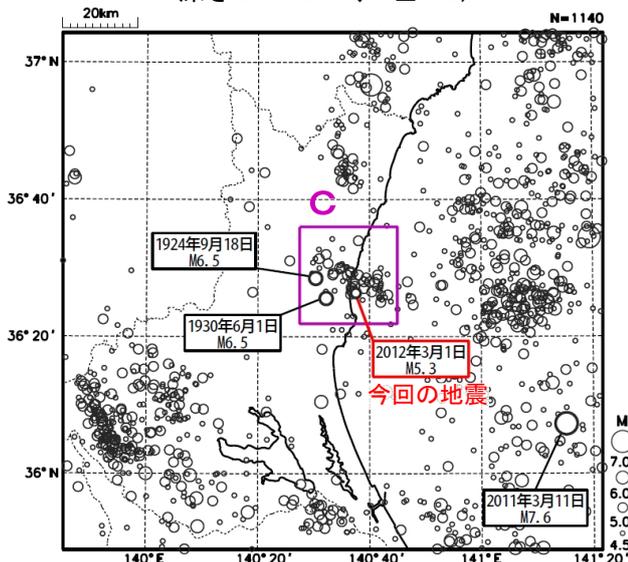
* 2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

領域b内のM-T図*



震央分布図

(1923年8月1日～2012年3月31日、深さ0～120km、 $M \geq 4.5$)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域c)では、M5.0以上の地震が度々発生しており、このうち、マグニチュードが最大の地震の一つである1930年6月1日に発生したM6.5の地震(最大震度5)では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図

